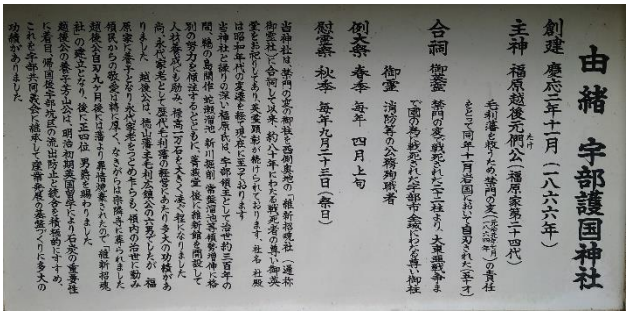
山口県隊友会　宇部支部

『 宇部護国神社の清掃(草刈)作業の実施 』

隊友会宇部支部は、８月４日(日)に宇部護国神社の清掃(草刈)作業を実施しました。

参加者は、落合参与・向上支部長他、協力会員の増重慎二氏とご子息の増重修君の参加で、総勢１１名の有志達です。



由緒　宇部護国神社

創建　慶応三年十月（一八六六年）

主神　福原越後元悟公（福原家第二十四代）

毛利藩を敬うための藩門の支（文政八年）の責任をとって同年十月岩国において自刃された至十才

合祠　御霊　藩門の為戦死された三十柱および大東亜戦争まで国の為戦死された部市会議員および名誉ある御柱

御霊　消防等の公務殉職者

例大祭　春季　毎年　四月上旬

慰霊祭　秋季　毎年九月二十三日（春日）

由神社は、藩門の支の御社を西側集地の（旧新招魂社（通称御霊社）と合祠して以来、約八年にわたる戦死者の尊い御英霊を祭祀しており、支藩興彰が偲びられております。社名・社殿は昭和五年代の支援を経て現在に至っております。

吉神社と縁りの深い藩門代目、毛利藩主として約三百年の間、幾の島開作・松潮潟干拓・新川開削・常盤湖造成・植竹開作に格別の努力を傾注するとともに、資産家・技術者を開設して人材養成にも務め、禄高二万石を大きく凌ぐ程になりました。

尚、永代家老として歴代毛利藩の輔佐にあたり多大の功績があります。越後公は、徳山藩毛利支藩公の六男として福原家を継ぎとなり永代家老となった。祖内の若世に動み領民からの敬愛を得て長く、なさがらは、南隣寺に葬られました。

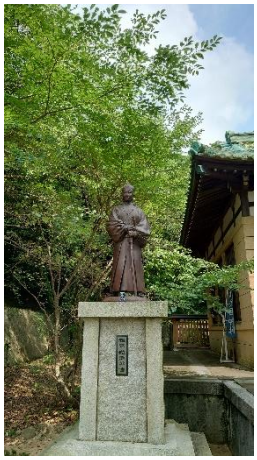
越後公は文政九年四月後に藩より長福禅寺に葬られました。

越後公の墓は寺山公園、明治初期廃寺により石塔の墓碑は社の建立となり、後に正四位、男爵を賜わりました。

に者目、帰国後宇部地区の流出防止と統合を指揮されすべめ、これを宇部共同教会と協力して座禅会を開催して座禅会の基礎づくりに多大の功績がありました。

真夏日の続く８月４日、朝８時３０分に宇部護国神社境内に集合しました。

忠　霊　塔



福原越後公像

慰　霊　塔

熱中症警戒アラート発表中のため、早めに始め、早めに終わらせようと早速作業開始です。

皆、草刈機の操作は、お手の物で、境内全域に渡って刈取り、刈草の処分を実施し、境内も綺麗に掃き清め、英霊に哀悼を捧げました。